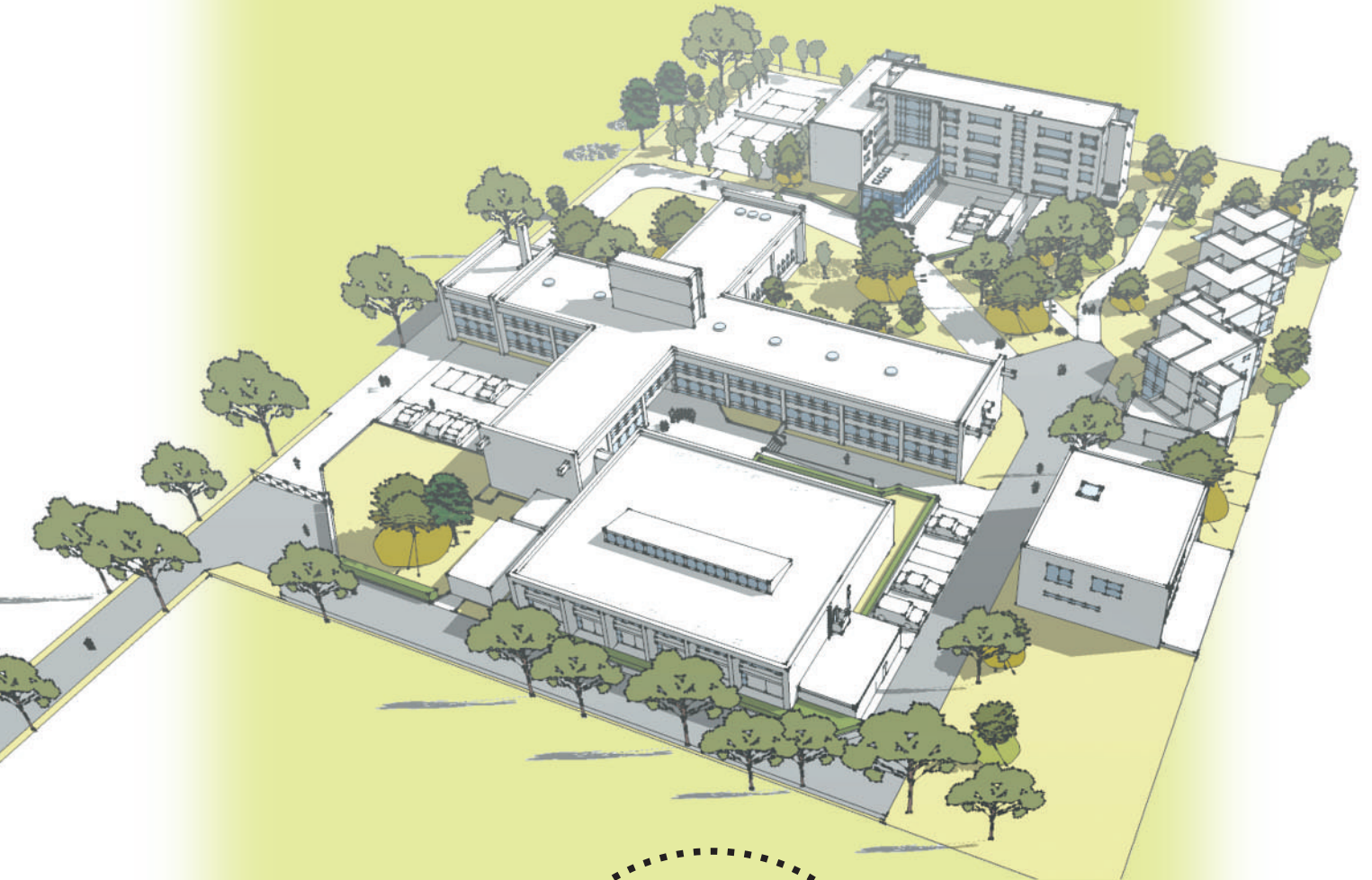


東京神学大学キャンパス整備募金

募金趣意書



東京神学大学新キャンパスイメージ図
(作成:一級建築士 大河内学也)

総工費

11億800万円

募金額 3億円



東京神學大學

「主がお入り用なのです」 マルコ11:3 学長からのお願い



この度、東京神学大学のキャンパス整備計画として、日本における神学教育のために、どうしても必要なものとしてお願いしたい三つのものを挙げました。皆様に特別なお支援をお願い申し上げます。

1. 教職員住宅:牧師は、教会に住むのが基本です。神学教育者は、神学校に住みます。教員が、住むべき家を与えられて、きちんとした生活を営むことは、神学教育において重要なことです。教員がキャンパス内に住むことによって、伝道者の生活の一つのモデルを示すこともできます。東京神学大学も、キャンパス内に教職員住宅を与えられて、教員とその家族の生活が営まれています。その住宅が、建築後50年を経て、更新すべき時が来ました。とくに、森の中にある木造住宅は、老朽化が激しく、住環境としては困難を抱えて来ています。

2. 学生寮:本学の学生寮は、教育寮ではなく、全寮制でもありません。しかし、多くの学生が、これまでの生活を返上して献身してきます。その献身をできるだけ支援するための学生寮が与えられています。本学を卒業した伝道者のほとんどが、学生寮は、どうしても必要だと言われます。全員が体験するのではなくても、ここに「神学校生活」というものが形を表しています。

3. 研修センター:なぜこのような施設が必要とされるのか。二つの意味が考えられています。一つは積極的に、本学の施設を教団や教団内外の諸教会の研修の場として、用いて頂きたいと願っています。教団との関係正常化以来、まず、「内地留学制度」を整えて、一旦立ち止まる必要を感じた教職が、もう一度学び直す場を提供しましたが、さらに、教会の皆様、本学を実際にお訪ね頂き、ご覧頂くことは、本学をお支え頂く上で重要なことと考えます。

もう一つには、必要に迫られていることです。現在、コンピュータ・ルームやラーニング・コモンズを設置したために、教室に不足が生じています。しかも、新しく作られる教室はバリアフリーでなければなりません。そして、一つ新しい教室が作られることで、他の教室や施設に余裕ができ、各分野の研究室や博士課程後期課程の学生の研究室を設置することもできます。

どうかこれら三つの願いをご了解下さり、ご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

2017年10月

学校法人東京神学大学学長 **大住 雄一**

東京神学大学キャンパス整備募金

募金趣意書



御恩寵のもとにお越しのこととお慶び申し上げます。

諸教会、諸団体、後援会の皆様方には、私ども東京神学大学の経営のために、多大な経常的支援をいただき深く感謝申し上げます。その上に、以下のような臨時のご献金をお願いするのは心苦しいことですが、日本の教会と伝道に仕える伝道者養成の本大学のキャンパス整備のためにご理解とご協力をお願いいたします。

東京神学大学は、1966年に三鷹市牟礼から現在の三鷹市大沢に移転して以来半世紀が経過する中で、数年来建物、設備などの更新を考えてきました。その結果、老朽化の激しい教職員住宅の建て替えが急務であること、学生寮も同様で毎年の修繕費が大きくなっていること、法制上一部の建物だけの建築は許されず、キャンパス全体の建築計画を同時に示さなくてはならなくなったこと等により、「キャンパス整備基本計画」を作成しました。その過程で、この計画の実行はいつか、の考慮に移り、結局、教職員住宅のみでなく学生寮をも建築すること、そして、次に新しい構想として研修センターを建築するという計画案に至り、理事会で決定されました。

思えば、私たちの先輩が1966年に、現在の地に移転したときには、旧牟礼キャンパスの土地売却とICUの土地購入との差額により、募金をお願いする必要がありませんでした。その後、1984年には新図書館建築のため、2億円以上の募金を国内諸教会・信徒の方々からいただき、神学校としての教育研鑽の施設が格段に充実したことを思い起こし、改めて感謝申し上げます。

今回のキャンパス整備は、図書館建設よりもっと大きな建設規模になりますので、3億円の募金のお願いをしたいと思います。詳細は別頁をご覧ください。

なにとぞ、東京神学大学の教育環境改善、ひいては日本伝道のためこの計画を御理解いただいて、ご支援をいただきたく切にお願い申し上げます。

主の祝福が皆さまの上に豊かに与えられますようお祈り申し上げます。

2017年10月

学校法人東京神学大学

理事長 **伊藤 瑞男**

学長 **大住 雄一**

募金委員長 **長山 信夫**

日本伝道の伝道力の強化のために

東京神学大学キャンパス整備事業にご協力下さい。



2011年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。東京神学大学は卒業式の最中で、震度5を超える地震にチャペルが大きく揺れました。その時、近藤勝彦学長の告辞が6分間中断しました。近藤前学長は「大地震に揺れても、東京神学大学は伝道者を送り続ける」と語られた言葉が心に残ります。教団紛争で教団が揺れ動いた時代にも伝道者を送り続けた東京神学大学の働きは日本基督教団の命綱です。東京神学大学の伝道者養成環境の改善は、日本基督教団の伝道力強化に密接に関係しています。

牟礼から現在の地に移転した時、わたしは学部二年生でした。全てが新しくなった環境に心踊る思いで移って行った時の事を思い出します。献身して、同じ使命を持った者が寮で共に生活し、教会に遣わされ同労者として共に伝道して行く事が出来たことの幸いを、今かみしめています。他教派の神学校訪問の機会が与えられてきました。その教派の教会が全力で神学校の環境を整備し支えている教会が、活発な伝道を展開している姿を見てきました。

日本基督教団のみならず、日本の伝道の強化の為に、東京神学大学の伝道者養成の環境の整備は、私たちの責務です。

現在の地に移転して50年、教職員の住宅は直視し得ないほど老朽化しています。学生寮も修繕費が毎年かさみ、建て替えが求められています。法制上一部の建物だけの建築は不可能であり、「キャンパス整備基本計画」が作成され、教職員住宅、学生寮と共に新しく、研修センターも建築されます。

日本基督教団では、伝道者の「生涯教育」の充実が叫ばれ、毎年夏開催される経験10年未満の教師研修会が注目され研修者も増えています。伝道者の再研修が可能となる「研修センター」の建設への教団の期待も高まっていきます。

教団のみならず他教派の伝道者養成、キリスト教学校への教務教師の派遣など日本伝道に重要な働きを担う東京神学大学の建築事業に、日本基督教団として総力をあげて祈り支援をしていきたいと願っています。

日本基督教団の教会、信徒の皆さまの祈りと御協力を心からお願いいたします。

2017年10月

賛同者代表 日本基督教団総会議長 石橋 秀雄

賛同者

日本基督教団各教区総会議長

北海道教区	久世そらち	奥羽教区	邑原 宗男	東北教区	小西 望
関東教区	東野 尚志	東京教区	岸 俊彦	西東京教区	願念 望
神奈川教区	三宅 宣幸	東海教区	宮本 義弘	中部教区	横山 良樹
大阪教区	小笠原 純	東中国教区	大塚 忍	西中国教区	小畑 太作
四国教区	黒田 若雄	九州教区	梅崎 浩二		

日本基督教団信徒会会長

望月 克仁

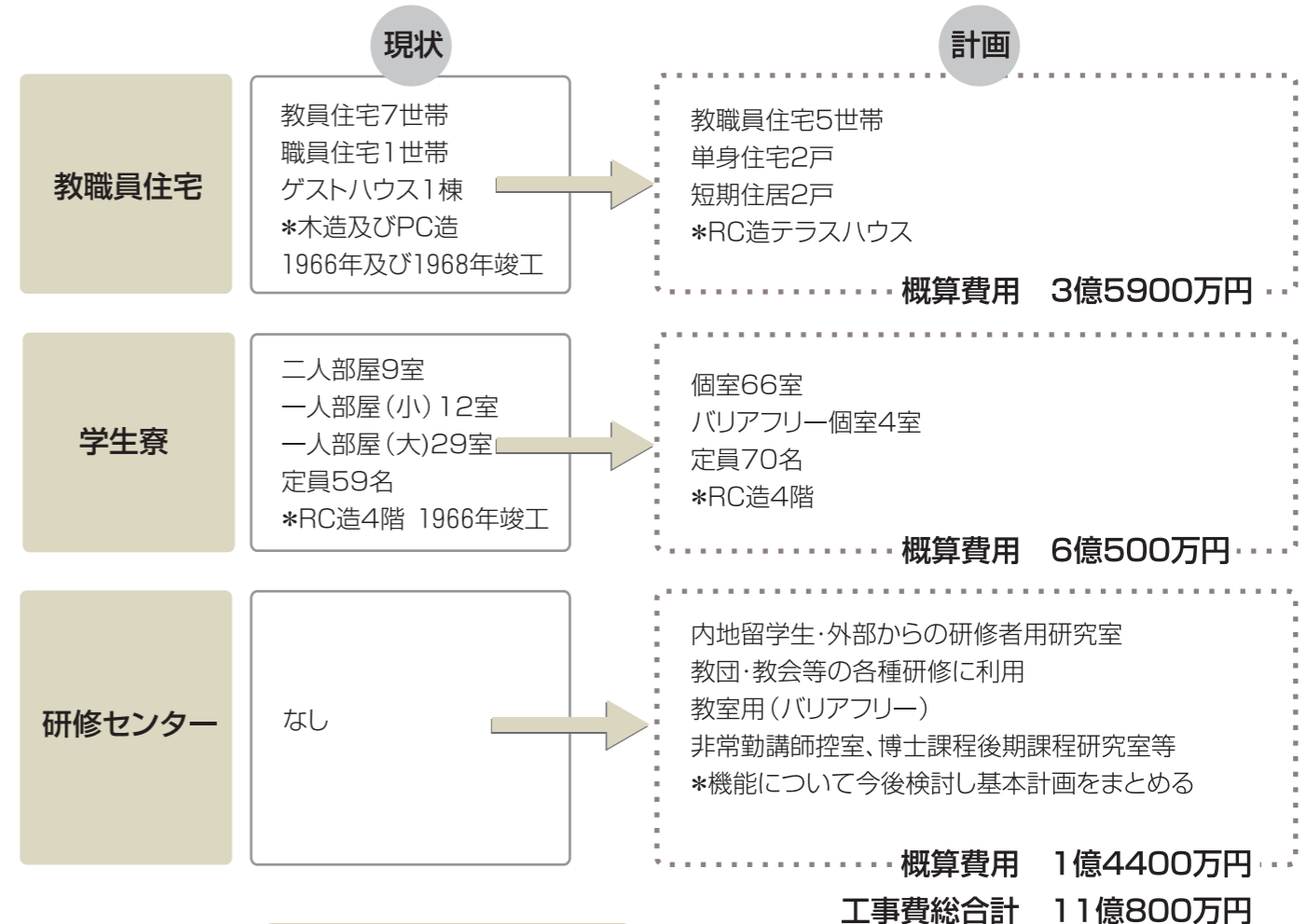
キリスト教学校教育同盟理事長

梅津 順一

東京神学大学後援会会長

岩澤 嵩

募金事業



資金計画

募金	3億円
現有資金	6億6900万円
見込引当資金	6400万円
受贈不動産売却益	7500万円
合計	11億 800万円



牟礼キャンパス礼拝堂
(東京女子大学図書館所蔵)



牟礼キャンパス鳥瞰図



大沢キャンパス鳥瞰図

キャンパス整備 基本計画イメージ図

寮室(定員70名個室形式)
自習室兼厨房及び食卓(5名シェア)
トイレ・洗面室・浴室(5名シェア)
通学生寮生共通ラウンジ
礼拝室

- ・各部屋は個室
- ・水まわり等の生活施設5人の共有
- ・食生活を改善する為、厨房を設置
- ・バリアフリーに対応
- ・通学生も利用できるラウンジ

シェアエリア

食事・自習・居間を兼ねる
共有スペース

個室群(5室単位)



●現在の学生寮

- ・築後50年が経過し、毎年修繕費を最も支出している建物
- ・コミュニケーションスペースの不足
- ・食事に関する機能の不足

新学生寮
2020年度
完成予定

本館
(維持継承)

図書館
(維持継承)

新研修
センター
2022年度以降
完成予定

新教職員
住宅
2018年度
完成予定

※実際の設計とは異なります

教団や教団内外の諸教会の研修の場

※詳細機能は今後計画

- ・学内外の講演
- ・大型教室の確保等



学内だけではなく、学外の関係諸団体の方々にもお使いいただける施設として、整備を進めていく計画

テラスハウス3LDK程度x4戸(教職員住宅)
身障者対応フラット3LDK程度x1戸(教職員住宅)
サブユニット(マンション1LDK)x2戸(单身住宅)
サブユニット(マンション1K)x2戸(短期住宅)

- ・テラスハウス方式で整備
- ・景観を配慮した施設
- ・静けさを保つキャンパス
- ・分散配置されている管理倉庫や廃棄物庫の統合

●現在の教職員住宅

- ・木造住宅の耐用年数を大きく超えて使用
- ・仕様部材が古いことから、深刻なカビ被害の報告
- ・耐震強度に不安がある

募金事業

- 教職員住宅の建替
- 学生寮の建替
- 研修センター建設

募金要項

名称 東京神学大学キャンパス整備募金

募金
目標額 3億円

募金期間 2017年10月～2022年3月
1口1万円でできれば5口以上(5年に分けて予約して頂くことも出来ます)
※ただし、御献金はお気持ちなので、金額にかかわらずお受けいたします。

申込・振込
方法 専用郵便振替用紙による送金

郵便振替による送金

口座番号:00150-5-0005032
学校法人東京神学大学

銀行口座へ送金

三菱東京UFJ銀行三鷹支店 店番:222
口座番号:0483816

学校法人東京神学大学キャンパス整備募金口

※銀行口座への送金の場合は領収書発行の為、FAXまたはメールにてお知らせ下さい。

寄付金控除について

本学への寄付は、**所得控除、税額控除、住民税控除、相続財産よりの寄付**など
様々な税の優遇措置の対象となります。

※確定申告等に係る詳細については、管轄の税務署にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

担当:東京神学大学財務課
所在地:〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-30
電話:0422-32-4185 FAX:0422-33-0667
Mail:zaimu@tuts.ac.jp

寄付に関するお問い合わせは、キャンパス整備募金以外でもお気軽にお尋ね下さい。